

私は今、65歳です。5年前、夫が停年になった時、子育ても終わり主婦に受けくれている人生に何か残すものさと思い、一つの生き方として、中国留学を決めました。

中国の黒龍江省ハルビンにある黒龍江大学に短期の語学留学をしました。6ヶ月の間、若者の人達と一緒に勉強したことはこれからの自分の老後にはかなり刺激になったと思います。

この時のある若者が、自分は整体師なので、中国語を学んで、更なる勉強をし、中国で働きたいと云っていたのが心に残っています。私は本来丈夫ですらで、交通事故で怪我をした以外、病気については人ごとだと思っていました。しかし、年には勝てません。人間

はいっか死にます。いっ、いかなる時も恐れず

に死を迎へ入らねば―――と思うにつけ。い

つ迄も人として、健康で美しくありたいと思

っています。自分が健康である限り、病んで

いる人に少しでも夢や希望が与えられたら本

当に素晴らしいことと思います。この年にし

て、少しは人のために立てる仕事が出来た

らうかと考えていました。ハルビーンで出合

えた若者の言葉を思い出しました。

又學出來の術、私自身の夢と己、中医学を

學ぶ、隣人の夢と希望を己の心と大きな希

望とたるとして。.